

事務局体制の確認

選択 **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者がいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

選択 **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択 **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容

選択 **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容

選択 **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択 **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

選択 **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
<input type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない
内容	

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input checked="" type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない
内容	

受付番号

644

グループ名称

日本ビルダー支援機構

様式3

選択

グループの未経験工務店に対するサポート体制

未経験工務店への優先サポートの実施

地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意

各種認定取得サービスの活用提案

施工管理・施工検査のサポート

営業支援（提案書作成・営業同行）

事務局による交付申請書類作成支援

事務局による実績報告書類作成支援

特にサポートは行っていない

その他

内容

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択

地域型住宅として地域社会との連携・継承等について

地域の伝統的なデザインの継承を意識している

地域の街並みの継承を意識して対応する

地域の住まい方の継承を意識して対応する

地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択

災害発生時・発生後の対応について

特に取り決めしていることは無い

取組みを行っている

団体会員と群馬県との間で応急仮設木造住宅建設等を目的とした災害協定の結末を目指します

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

情報提供を受る

受付番号

644

グループ名称

日本ビルダー支援機構

グループの取組み等PRポイントについて

当団体では群馬県の風土に合った高性能な省エネ住宅建築の促進をしています。群馬県と一口で言っても県西・県北地域では山々が連なり、南東部には関東平野が開ける内陸県です。それぞれ気候が異なる中、地元に適した家づくりを会員又は各部門の専門家と共に協議し、施主様に喜んで頂ける家づくり、その先に地球環境・資源までを考えたSDGsの取り組みを行っております。近年各地で事前災害が頻繁に起きていますので、不測の事態に備え、群馬県との間に緊急仮設木造住宅建設等を目的とした災害協定の結束にもチャレンジして参ります。また、省エネ住宅建設未経験業者様に対しましてもスムーズな取り組みができるようサポート体制を組んでいます。

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

安全で快適に住み続けることができる、資産価値の高い性能評価住宅。地震発生時に耐えうる信頼性の高い住宅。主要構造材は地域材の使用を50%以上とし、105, 120サイズを標準とするよう努める。木拾い表を活用し各部材規格化に向けた努力をする。省エネルギー基準に対する断熱材等共通リストを活用するよう努める。ゼロエネ住宅に関しては、BELS認証による評価とする。また、竜巻が発生する地域でもある為、竜巻に耐えうる屋根構造とするよう努める。

地域型住宅における地域材の活用について

地域材は県内調達を促進するが、木材の特徴を生かした活用の為、広く国内・国外の調達を可とする。合法木材事業者認定取得又はPEFC-CoC認証制度取得さきからの調達とする。原木の一部原木供給者が海外の為、該当する事業者の原木出荷の適合は、認証制度に基づく証明書にて示す。

引き渡し後の維持管理について

住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会が提供する履歴・蓄積市捨て久、又は同等の内容とする。又、点検サービスを利用し、指摘事項を踏まえた補修を実施する。又、点検報告書による確認に努める。

消費者相談窓口の有・無と消費者に対する対応内容

消費者相談窓口がある



<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	日本ビルダー支援機構				
R3採択グループ番号	09	-	0596	-	0153

F: 交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 : モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)	
<input type="checkbox"/>	その他			

(1)-7: モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	5	0.51	148	24	<input checked="" type="checkbox"/>	7	<input checked="" type="checkbox"/>			
2	4	0.41	100	34	<input checked="" type="checkbox"/>	6	<input checked="" type="checkbox"/>			
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1: 導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/>	地熱利用	
<input type="checkbox"/>	その他			

(2)-2: 現在の運用をお答えください

選択項目					
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している		<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない	